

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	脊髄動静脈奇形に対するサイバーナイフ治療後の後方視的臨床研究
研究責任者	香川賢司
研究機関名	日本赤十字社医療センター 脳神経外科
研究目的と意義	脊髄動静脈奇形は先天的に脊髄内にナイドスと呼ばれる動静脈がつながる異常血管の塊が存在するものです。血管シャントによるうっ血やナイドス破裂による出血をきたし、両上下肢の麻痺、感覚障害、膀胱直腸障害などが出ることがあります。頭蓋頸椎移行部のくも膜下出血では意識障害、呼吸障害など脳の障害が発生することもあります。 脊髄動静脈奇形は希少な疾患であり、標準治療は定まっていません。手術治療か血管内治療が選択されることが多いですが、解剖学的要因などで治療適応とならない症例については定位放射線治療の実施が考慮されます。 脊髄動静脈奇形の患者さんに対する定位放射線治療後の長期フォローアップについての報告は少なく、これまで当院の治療成績について調査し、治療の有効性の評価するため本研究を実施します。
研究方法	2011年8月1日～2021年9月30日の間に日本赤十字社医療センターで脊髄動静脈奇形に対してサイバーナイフ治療を受けられた方を研究対象とします。対象となる患者さんについて背景、臨床症状、放射線学的所見、治療法、合併症や転帰等を調査します。特に神経症状の推移、再出血の有無、画像所見の変化を含む項目について評価・検討します。 この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。個人情報に厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。 この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者： 香川賢司 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604